※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な現象や課題をグループ学習・発表等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解し、生活課題を主体的に解決するために必要な基礎的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる能力と実践的な態度を身につけることを目指す。

(a)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

(b)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(c)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的なことを理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家族、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人生をつくる 生涯を見通す	○人生を展望する ○目標をもって生きる ○人生を作る ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会 ＊グループ発表	a：　青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題としてとらえる知識を身に着けている。また、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：　青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：　青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。また、家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	期末考査	パフォーマンス課題(ワークシート)	振り返りシート ワークシート
	子どもと共に育つ 共に生き、共に支える	○子どもの育つ力を知る ○子どもと関わる ○子どもとの触れ合いから学ぶ ○これからの保育環境 ○私たちの生活と福祉 ＊夏休みは課題 子育てインタビュー	a：　子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。 b：　子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：　子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。共生社会の一員として関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	期末考査	パフォーマンス課題	レポート、振り返りシート、ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○食生活の選択と安全 ○調理の基礎 調理実習２回	a： 栄養、食品、調理、調理衛星、ライフスタイルなどについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解をし、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。生涯を通して健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生など調理実習を通して身につけている。 b： 食事と健康に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：食事と健康に配慮した食生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	期末考査	パフォーマンス課題（実習レポート）	実習レポート
	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を管理する ○生活小物の製作 ペンケースの製作	a： 衣生活について理解し適切な衣服の着用や管理が行えるよう、技術や知識を身につけている。作品の部位に適した縫製技術を用いて製作する技術を身に付けている。 基本的な縫い方の名称・用途・作成手順について理解できている。 b： 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見出しその解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c： 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 小物構成の特徴を理解し、また縫製方法に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	期末考査 作品	パフォーマンス課題（レポート）	振り返りシート、 ワークシート
３学期	経済生活を営む	○情報の収集・比較と意思決定 ○購入・支払いのルールと方法 ○生涯の経済生活を見通す	a： 現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b： 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	学年末考査	パフォーマンス課題（ワークシート）	振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度